



関西北陸ブロック京滋奈良エリア しょうひしゃ交流会～考えよう大学生生活の消費～ & 消費者教育タスクチーム#4

概要

日程：7/19(水)18:00~21:00
(交流会は18:00~19:30)
場所：Zoom

参加者

同志社(2)、立命館(1)、京府大(1)、龍谷大(1)、滋県大(1)、奈良女(4)
関学大(4)、佛教大(2)、京産大(1)、コンシューマーズ京都(1)
京都府職員(2)、BK職員(1)、BK学生事務局(4)、オブザーバー(1)
計7会員26名

01 持ち寄り学習会

しょうひしゃ交流会はじめのコンテンツ

しょうひしゃ交流会のはじめのコンテンツは、タスクチームメンバーによる持ち寄り学習会でした。先月のタスクチーム同様、「健康食品」と「エコツーリズム」をテーマに学習会を行いました。

「健康食品」については「健康という言葉だけを鵜呑みにしないこと、また「エコツーリズム」については、旅行先について検討する良い機会になりました。

課題

1. 観光と自然保護の両立
・エコツーリズムの目的は集客だけでなく、地域の環境保護と観光業を両立させること。
・しかし、観光客が増えると…
・ゴミが増加し、さらに外来植物が持ち込まれることも
また、バリアフリーの必要性が主張される現代では、観光で人を呼び込むためには車道や歩道の整備が必要
→地域の生態系の破壊、貴重な植物や生物にダメージを与える可能性

1人暮らしだから、表示を
しっかりみて、
食品を買おう
と思った。
(奈良女2年)

02 ロールプレイング

実際の消費者トラブルってどんなもの？

2つめのコンテンツは、消費者トラブルのロールプレイング体験を行いました。実際にどんなトラブルがあるのか、その役割の立場になりきって体験しました。

身近にトラブルにあったことはないけれど、他人事ではなく、自分事として捉えることが重要です。また、困ったときはすぐに188に相談をしましょう！

ビジネススクールに勧誘されて

役職 村田、ダイスケ、チローチへ、原田
村田：<パンフレットを見せながら> コミュカの高い人とそうでない人との年収差はこんなにあるという調査があるの。
ダイスケ：そうなんですか？(本当は、そんなものありません、嘘です)
村田：そうよ、特にコロナで密になってはいけません、黙致です、とが言われて、友達も作れなかったでしょう？
ダイスケ：そうですねえ
ナレーター：説明が続いた後、翌日に具体的な対策について説明を受けることになりました。次の日は、上司が呼び、リクルード講師の契約の話になりました。

他人事ではなく、自分ごととして捉えるべきだと思った。
(関学大2年)

03 しょうひしゃ交流会を通して

しょうひしゃ交流会を通して、「消費者トラブルにあったことはないけど、考えるきっかけになった」という声が多くありました。是非、自大学や周りの友達にも広げていきましょう！

+A 消費者教育タスクチーム#4

しょうひしゃ交流会の後にタスクチーム会議を行い、出前講座について話し合いました。10月開始予定です！

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [田中 陽菜]
Tanaka.Hina@univ.coop

感想交流

- ・今日、印象に残ったことはありますか？
- ・自分や身近な人が、体験した消費者トラブルはありますか？
- ・最近関心を寄せていることはありますか？

12分間いってらっしゃい！

1年生の段階で、消費者として知っておいた方がよいことを知れてよかったです。
(立命館1年)